校内生活の心得

１　服装について（詳細は衣替え時に指示）

Ａ　冬季の服装（１０月～５月末）

男子　標準型学生服（認証マーク付学生服・ズボン）

〇原則として下にワイシャツ着用

女子　紺制服

〇イートンダブル・ひだスカート・カッターブラウス（角襟）・リボン

〇ストッキングは黒か肌色。

女子用スラックスも可。トレンカ・スパッツも可、色は黒。

トレンカ・スパッツを着用した際のソックスは黒色。

Ｂ　夏季の服装（６月～９月末）

男子（上）ワイシャツか開襟シャツ

（下）黒学生ズボン（冬に同じ）

女子（上）カッターブラウスか開襟シャツ（角襟）

（下）紺ひだスカート（つりをつけてもよい）

〇リボンはつけなくともよい。

〇ベストを着用してもよい。

Ｃ　共通

ａ　名札を指定の場所につける。

ｂ　ソックスは白・黒・紺・グレー。マークはワンポイントで、やや大きいものも可。

長さは、ケガ予防の観点からくるぶしが隠れるものが望ましい。

ｃ　内履き・外履きは学校指定のもののみ。

ｄ　清掃時の服装は体育着とする。

ｅ　変形ワイシャツ、カラーシャツ、木綿のシワシワシャツ等は禁止。

ｆ　夏季は半袖を原則とし、長袖はひじ上まで折り上げる。おろしている場合は袖のボタンを止める。

ｇ　ワイシャツの下は白色のシャツか、白色のＴシャツを着る。体育着でもよい。

ｈ　冬季の防寒対策として、セーター、カーディガン、トレーナーの着用を認める。袖や襟が制服から出ることのないようにする。

２　頭髪について

高校入試に行ったときに良い印象を与える身だしなみ（頭髪、服装）で学校生活を送る。

３　所持品について

ａ　通学カバンは学校指定のものとする。

ｂ　学習に不要のもの（雑誌、玩具類）は持ってこない（遊び要素のある学用品も含む）。

ｃ　貴重品、現金などは原則的に持ってこない。持ってきた場合は、担任に預ける。

４　時間について

a　８時１０分登校完了。

b　登校時や教室移動時、集会などは「５分前行動」を心がける。

c　用のない生徒は帰りの会の後、ただちに下校する。課外活動の下校時刻は別に定める。

d　チャイムの前に着席、学習を開始する。

その他

１　自転車通学は禁止とする。

２　欠席、遅刻の場合は必ず保護者が連絡をする。

３　一旦登校したら、先生の許可なく校地外へ出ない。

４　校舎、校具は大切に使う。万一破損した場合は先生に届け出る。